



学校図書館だより

12月号

令和4年12月6日
柏市立柏第五中学校
柏市学校図書館指導員
土屋理賀子

12月になりました。澄み切った空気は気持ちよく、背筋を伸ばして歩きたくなりますね。2022年も最後の月です。この一年、いろいろなことがありました。そのひとつひとつが、みなさんにとってかけがえのない経験でありますように。そして来年も、たくさんの本との出会いがありますように。

《今月のおすすめ本》

『伊豆の踊子』

川端康成 著 新潮社 〈913〉

日本で初めてノーベル文学賞を受賞した作家、川端康成。今年には亡くなって50年になります。「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」は代表作『雪国』の冒頭として有名ですね。本書『伊豆の踊子』も代表作として挙げられます。悩みを抱える主人公の青年が、旅先で出会った旅芸人の踊子との交流により、心が洗われていく物語です。

『百花』

川村元気 著 文藝春秋 〈913〉

著者の川村元気さんは、映画「電車男」「君の名は。」などのプロデューサーとしても知られ、自らの著書を原作とした映画「百花」で監督を務め、サンセバスチャン国際映画祭最優秀監督賞を受賞しました。『百花』は、認知症が進む母親と介護をする息子との親子関係修復の物語です。川村さんの他の著作には『億男』『世界から猫が消えたなら』などがあります。

今年あった出来事より

『アンマーとぼくら』

有川ひろ 著 講談社 〈913〉

今年には沖縄が本土復帰して50周年の節目にあたります。沖縄を舞台にした小説を紹介します。主人公のリョウが沖縄に里帰りし母親と過ごす3日間の物語です。小学校4年生の時に病気で亡くなった生みの母親のこと、子どものようなところばかりで嫌いだった、今は亡き父親のこと、新しい母親との関係、ずっと固まっていたリョウの心が解け出します。家族とは何でしょうか。自分にとっての大切なものを感じられる温かい作品です。

『ぐりとぐら』

中川李枝子 著 山脇百合子 絵
福音館書店 〈913〉

♪「ぼくらのなまえはぐりとぐら〜」小さいころ、この歌詞に自分で作曲をして歌っていた人も多いのでは？ロングセラーとなったこの絵本の絵を手がけた、画家で絵本作家の山脇百合子さんが9月に80歳で亡くなりました。シリーズは海外13言語に翻訳されています。

学校図書館よりお知らせ

★新しい本が届きました★

裏面にリストの一部を載せてあります。

★冬休み前特別貸出★

貸出冊数：ひとり 5冊まで

貸出期間：12/7(水)~12/21(水)

返却期間：~1/13(金)





新着本のコーナー
にあります
問い合わせなどは
指導員まで
お願いします。



10代と考える「スマホ」 ネット・ゲームとかしこくつきあう
親のことが嫌いじゃないのに「なんかイヤだな」と思ったときに読む本
心に折り合いをつけてうまいことやる習慣
強い国でわかる世界の歴史 イラスト図解でナットク!
世界史の教科書 宗教編 公立高校教師YouTuberが書いた
漫画サピエンス全史 文明の正体編
こどもサピエンス史 生命の始まりからAIまで
元号の歴史大事典 大化から令和
さがしています
イギリスの歴史 帝国の衝撃
古代エジプト解剖図鑑 神秘と謎に満ちた古代文明のすべて
SDGsを実現する2030年の仕事未来図
NHKカガクノミカタ
語りかける中学数学
宇宙に行ったらこうだった! 宇宙飛行士は見た
若い読者のための『種の起源』 入門生物学
その道のプロに聞くふつうじゃない生きものの飼いかた
カメの甲羅はあばら骨 人体で表す動物図鑑
生き物の死にざま
人類が滅ぼした動物の図鑑
人と動物の日本史図鑑
きっと誰かに教えたくなる蚊学入門 知って遊んで闘って
もっとディープに! カラス学 体と心の不思議にせまる
人とどうぶつの血液型
そこに工場があるかぎり
「環境の科学」が一冊でまるごとわかる
電車を運転する技術 オールカラー&図解で手に取るようにわかる!
お味噌知る。
満月珈琲店のレシピ帖 月と星のやさしいメニュー
凜として美しい内面の磨き方 「お茶」を学ぶ人だけが知っている
黒猫館の殺人
君を愛したひとりの僕へ
百花
光秀の定理 (角川文庫 時-か78-1)
おまえなんかに会いたくない
琥珀の夏
檸檬先生
包帯クラブ ルック・アット・ミー!

